

JIM-NET Annual Report 2021

年次報告書



©Yusuke Suzuki



JIM-NET
الشبكة الطبية اليابانية العراقية

不安定な状況が 長引くイラクやシリアへの 医療支援を続けます。

代表理事 鎌田 實



日本では、冬にかけて新型コロナウイルスの感染者が急増し、今なお感染予防に注意を払いながら生活をする日々が続いています。「マスクはいつ取れるのか？」そんな声も聞こえてきますが、日本の社会で生きる人々の行動規範を考えると、もうしばらく先なのかもしれません。では、イラクやシリアではどうでしょうか。出張から戻ったスタッフや現地の写真を見聞きすると、多くの人はすでにマスクをせず、政府による行動制限も設けていないことが分かりました。「コロナよりも経済や生活への不安の方が大きい」「コロナよりも怖いものと隣り合わせで生きているから、コロナを怖がる余裕がない」という現地の人々の声を聞き、僕は驚きよりも、その状況に頷いてしまいました。これまでに会ってきた現地の人たちの顔を思い浮かべると、コロナの脅威も頭では理解しつつも、コロナ以上に苦しめられる状況が常に隣り合わせであることが容易に想像できたのです。

最後に僕がイラクに渡航してから、もうすぐ3年が経とうとしています。皆さんに応援していただいているJIM-NETハウスでは、今年度は新型コロナウイルスの影響を受けることなく活動が出来ました。現地から送られてくるJIM-NETハウスで



学び、遊ぶ子どもたちの写真に胸が熱くなりました。喜ばしいことです。また、今までの活動に加え、がんの子どもたちの親御さんやご家族に対するピアサポートを本格化させています。まだまだイラクでは浸透していませんが、同じ悩みを抱えている親御さん同士の交流や、そうした場の提供はとても大事なことです。

今年度も現地スタッフのチームがシリア北東部へ渡航し、医薬品の供給が不安定な難民キャンプに医薬品を届けました。更なる経済悪化や情勢不安の中、パートナー団体と協力しながらシリア国内支援も続けています。

チョコ募金は14万個に設定し、たくさんのお申込みのお陰で2月初旬に終了することができました。大口寄付者の方からは1,000セットの申込みがあり、福島とイラクの子どもたちにプレゼントして欲しいとのお申し出がありました。ありがたいことです。

収益事業として、「COFFEE for PEACE！」と名付けたドリップコーヒーの取り組みもスタートしました。このパッケージにも子どもたちの絵を使っています。チョコ募金とはまた違った形で、皆さんにイラクやシリアの子どもたちの絵を紹介することができて、僕も嬉しいです。

今年度も、サポーターや支援者の皆様と交流の場が持てなかったことが、とても残念です。イベントもオンラインが主流になってきましたが、対面でのイベントも少しずつ増えてきました。是非来年こそは皆さんと直接話す機会を持ちたいと強く願っています。

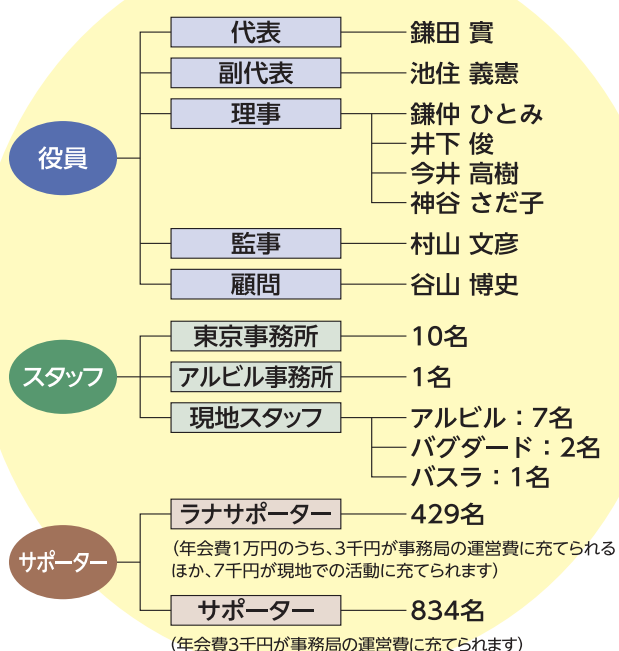
コロナに加え、ウクライナ情勢や気候変動など世界では不安定要素が多くなる一方です。

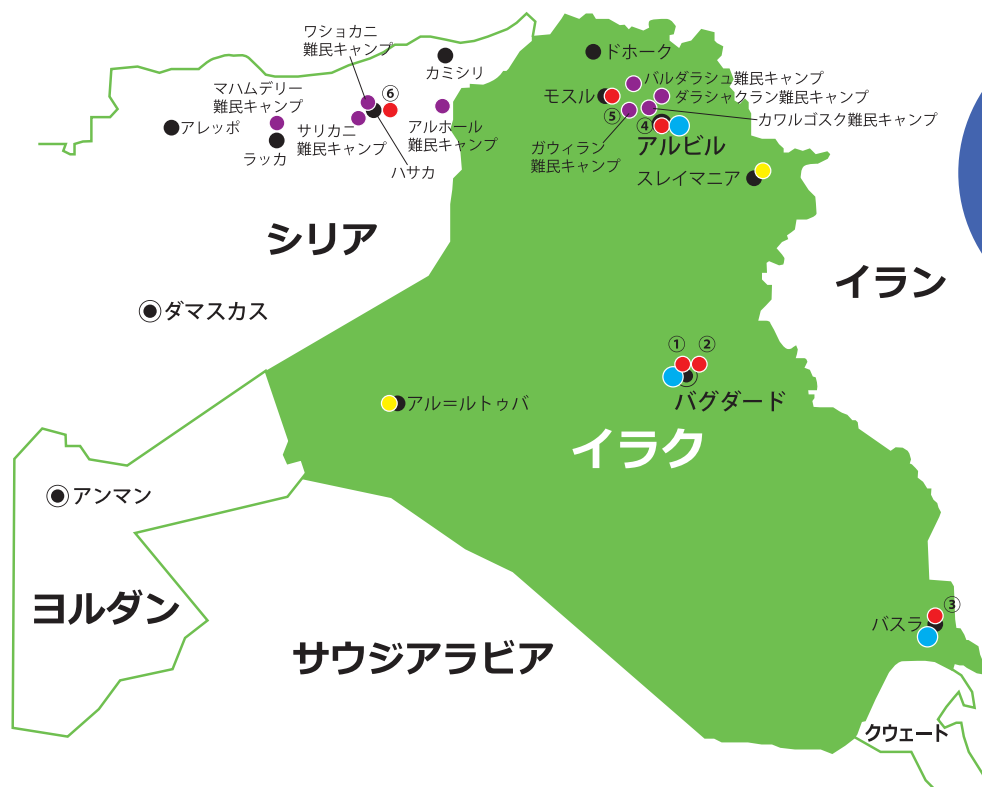
そんな中でも、イラクやシリア、福島の支援を続けられているのは皆様の応援のお陰です。心から感謝しています。不安定な地域で長く活動をする僕たちだからこそ、現地の様子をより多くの方々にお伝えして、皆で手を携えながら、イラクやシリアの人々を支えていきたいと思っています。

引き続き変わらぬご支援、どうぞよろしくお願いいたします。



組織体制 (2022年3月現在)





JIM-NETの 海外活動拠点 (2021年度)

- JIM-NET 事務所
- 支援先病院
- 関係のある病院
- 支援先難民キャンプ

- ① バグダード小児福祉教育病院 (CWTH)
- ② 中央小児教育病院 (CPH)
- ③ バスラ子ども病院
- ④ ナナカリ病院
- ⑤ イブン・アル = アシール病院
- ⑥ クルド赤新月社病院

JIM-NETのあゆみ

1990年代半ば、イラクの子どもたちの間で、がん・白血病の発症率が急激に増加し始めました。1991年の湾岸戦争時に、米軍が使用した劣化ウラン弾の放射能の影響だと思われます。しかし、湾岸戦争後の経済制裁による抗がん剤や医療機器の輸入制限のため、適切な治療が受けられず、助かるはずの多くの子どもたちが命を失っていきました。

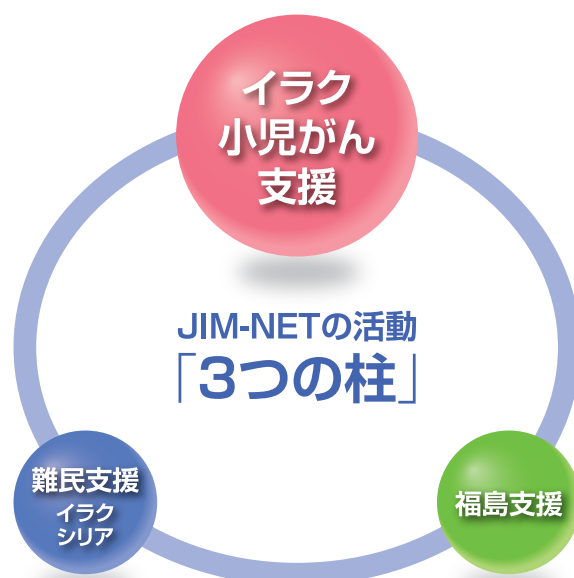
2003年のイラク戦争で、米軍は再び劣化ウラン弾を使用しました。イラクの病院は破壊され疲弊し、保健行政も機能不全に陥り、増え続ける小児がん・白血病の子どもたちにとって危機的な状況でした。2004年6月、来日したバスラ産科小児科病院のジャンン医師と日本の支援者たちの間で、子どもたちの窮状を救うための話し合いがもたれました。そして、より効率的で継続的な支援体制の確立をめざし、NGO、市民グループ、日本とイラクの医師たちが「日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET)」を立ち上げました。以降、任意団体として7年あまり活動した後、2012年2月1日、特定非営利活動法人 (NPO法人) となりました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の直後には、宮城県石巻市を中心に、医療支援や仮設風呂の提供を行いました。地震と津波で福島第一原子力発電所の事故が起きた福島県にて、放射能の被害を最小限に留めるべく、除染や保養の支援を継続して行いました。また、2012年4月からは、紛争が激化したシリアから大量の難民が発生したことを受け、イラクとヨルダンにて緊急支援を開始しました。

2019年度には、イラクで初となる小児がん総合支援施設

(通称：JIM-NETハウス) がアルビルのナナカリ病院敷地内に完成し、がんの子どもたちへの教育サポート、患者家族からの相談受付、宿泊場所の提供など心理社会的サポートが本格的に開始されました。

JIM-NETは、イラクの小児がんの子どもたちが自国できちんと治療を受けられるようになり、先進国並みの生存率となるように支援を続けます。福島支援活動も継続し、放射能汚染から子どもたちの健康を守る活動を行う団体への支援を実施していきます。また、シリア難民支援とイラク国内避難民支援にも継続して取り組んでいきます。



小児がん支援

概要

イラクでは2021年10月に国会総選挙が行われ、選挙後初の議会が今年1月に開かれました。過半数勢力はなく、政権発足に向けて各派の折り合いがつかず、現在も組閣には至っていません。過激派イスラム組織ISの残党はイラク各地で活動을續けており、そのための対策や、水道や電気や医療を含む公共サービスの安定的な供給などの問題が山積しています。また、新型コロナウイルスの感染状況は2021年8月と22年2月に波がありましたが、政府はこれ以上の経済の悪化を避けるため、経済活動を止めない方向に舵を切っています。

保健行政についても、長年にわたる医薬品不足や病院に対する予算不足は、未だ解決されていないことが、複数回行われたイラク人医師との会議でも共有されました。JIM-NET設立当初と比較すると、政府からの医薬品供給は大幅に改善されていますが、未だ各病院は必要とされる医薬品を十分に患者に提供することができていません。そのため各病院からJIM-NETが行っている医薬品支援は、病院の必要性に迅速に対応できていると評価を受けています。一方で各病院が必要な薬剤量を的確に把握するための取組みも必要とされているため、22年度はJIM-NETが側面支援する形で、イラク人医師の主導によりデータ管理の導入が進められる予定です。



ピアサポート



家庭訪問

Dr. ヒワによる
first aid 研修

大学生グループの訪問 (JIM-NETハウス)

こんな活動をしました

■ 医薬品支援・消耗品支援

3地域の小児がん専門病院に抗がん剤を中心とした医薬品、医療品を支援しました。

バクダード	約608万円
バスラ	約746万円
アルビル	約511万円



* 医薬品は、株式会社カタログハウス様、生活協同組合パルシステム東京様、連合「愛のキャンパ」様より、多大なご支援をいただきました。

■ JIM-NETハウス

3年目を迎えた小児がん総合支援施設「JIM-NETハウス」では、患者の家族同士が話を聞き合う場を8回実施しました。コロナの蔓延のため、日本からの専門家派遣は延期となりましたが、22年秋に実施予定です。

【教育支援】

21年8月に運営主体を病院側からJIM-NETに移行させ、常時8人～12人の子ども達が院内学級に参加しています。また、21年度より4科目のテストを実施し、学力測定を開始しました。

【青少年活動】

21年度はダンスも積極的に取り入れたり、子ども達の体調を考慮しながら複数回のピクニックも実施しました。

【宿泊者の受け入れ】

20年度利用者の延べ人数3,443人（1日平均の利用者9.4人）から21年度は4,291人（1日平均の利用者11.7人）へと増加しています。宿泊が必要な患者家族は、調整してすべて受け入れています。





相談を受けるスタッフ



JIM-NETハウスの英語のクラス



入院中の子ども（アルビル）



入院治療中の子ども（バスラ）



院内学級（バスラ）

■ 貧困患者支援

貧困患者に対する支援として、医薬品の購入や病院までの交通費の支援を行っています。2014年以降、経済状態は悪化の一途をたどっており、アルビルにおいては支援額を増やして対応しました。

アルビル 431件（地元の患者家族329件、国内避難民及びシリア難民家族220件）
バクダード 130件
バスラ 152件

貧困患者支援では、患者家族の生活状況を把握するため

に家庭訪問を実施しています。アルビルは今年度28軒の家庭訪問をし、高額になる治療費や検査代のために、多額の借金を抱える家族もいることも分かりました。

■ 「地域で支える」 がんの子どもたちへの取り組み

現地NGO「Kurdistan Save the Children」、地元の大学生や企業と複数回の共同イベントを開催しました。また、地元メディアから4回の取材を受け、患者の子どもたちの現状や、JIM-NETの取り組みが多くの人々への周知につながりました。



JIM-NETが関わる子どもたちを紹介！

ラウイン・シュワン（6歳）腎芽種

アルビル出身のラウインは、双子の妹のラジャと一緒にJIM-NETの院内学級に参加しています。彼女は小学校を卒業したら学校の先生になりたいと話しており、いつも勉強を頑張っています。がんが見つかり、家で塞ぎがちであったラウインですが、院内学級に毎日参加するようになり、また心を開くようになりました。「怒ったり悲しんだり

感情が不安定でしたが、今は笑顔も増え、毎日楽しくに院内学級の様子を話してくれます」とお母さんも嬉しそうにスタッフに話していました。



シマ・シェルワン（10歳）急性リンパ性白血病（ALL）

アルビル出身のシマは昨年より院内学級に参加しています。得意科目は算数です。お父さんの身体が不自由で仕事も満足にできず、治療費も重なり、家もかなり貧しくなりましたが、JIM-NETの支援でなんとか白血病も寛解状態となりました。先生の言う事をよく聞き、分からないことは素直に質問できる真面目な生徒です。来年から公立学校への復学も予定しており、今日も勉強を頑張っています。





シリア国内での
医薬品支援



メディア取材

2021年度の活動の様子



アルビル城に
ピクニック



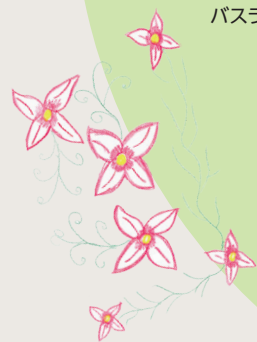
バスラ院内学級



ダラシャ克蘭
難民キャンプで
お絵かき



皆で種まき



授業中の一コマ (JIM-NETハウス)



ダラシャ克蘭難民キャンプでお絵かき

難民支援

概要

イラク国内では新型コロナウイルスの流行も落ち着きを見せ、通常のプロジェクト運営に戻りつつあります。ダラシャクラン難民キャンプに対する粉ミルク、オムツの支援は、例年通り実施し、一年間で約40万円分の物資を届けました。ワークショップでは、妊産婦に加え、今年度より貧困層の女性たちも含め、10名体制で実施をしています。10月よりポーチ、ブローチ、くみボタンの試作品の作成を開始しており、将来的に日本でのグッズ販売もできるよう技術を高めています。

また、現地保健局を通し、隣接するドホーク県のシリア難民キャンプに対して、約80万円分の医薬品やサプリメント、避妊具などを支援しました。多産による貧困化を避けるため、来年度は現地のNGOと協力し、さらに家族計画支援を強化していく予定です。

シリア国内では、ここ1年、経済状態がさらに悪化しています。犯罪も増加し、ハサカ市内では過激派組織ISによる刑務所襲撃など、新たな不安定材料も出てきています。遠隔地に位置する難民キャンプでは、生活環境が月を追うごとに悪化しており、医薬品の供給が不安定となり、支援の需要は



シリア、サリカニ難民キャンプでの絵画ワークショップ



ドホーク県の難民キャンプへの支援



シリア、サリカニ難民キャンプにてスタッフと子どもたち

増えている現状です。今年度もクルド赤新月社の協力のもと、約150万円分の医薬品を、4つの避難民キャンプ内にあるプライマリー・ヘルスケア・センターに届けました。

こんな活動をしました

■ シリア難民キャンプ（イラク）

ダラシャクラン・シリア難民キャンプに対して約438,000円分の乳糖不耐症の乳幼児のための特殊ミルク、おむつの支援を実施しました。また、妊産婦やキャンプの貧困層に属する女性たちを集めた手芸ワークショップを週2回開催しました。



ドホーク県に位置するバルダラシュ・シリア難民キャンプ、ガウィラン・シリア難民キャンプに対して、約877,000円分の医薬品、サプリメント、避妊具の支援を実施しました。

■ シリア国内医薬品支援

2021年10月にシリア・ハサカ県に位置するワショカニ・シリア国内避難民キャンプ、サリカニ・シリア国内避難民キャンプ、アルホール・シリア国内難民キャンプ（イラク人・シリア人双方）に対して、1,219,000円分の医薬品を支援しました。また、同国ラッカ県に位置するマハムデリー・シリア国内避難民キャンプに対して、約365,000円分の医薬品を支援しました。

（1ドル＝121.90で計算）



シリア国内にも医薬品を届けました



福島支援

福島支援の条件に合う活動や団体に対して、公募・推薦によって選拔し、支援を実行しました。

(2021年度募募集期間：2020年7月1日～12月31日)

2021年度は、以下3団体に支援しました。(五十音順、法人格名を除く)



たけのこ放射能測定(長野)

2021年度 福島基金支援先団体一覧

団体名	事業概要	助成額
熊本YWCA	福島と熊本の子どもの対象とした保養プログラムを開催	¥300,000
こらん処よろず相談会	定期的な健康診断を実施し、甲状腺の異常などをはじめ病気の早期発見につなげる。	¥300,000
特定非営利活動法人 日本チェルノブイリ連帯基金	食品・環境放射能測定	¥300,000
	合計	¥900,000

広報・イベント

【刊行物】

- ・JIM-NET 便り年間4回発行
- ・アニュアルレポート1回発行

【主な開催イベント】

◆2021年

4月17日	「シリア国内支援現地報告会」(ZOOM イベント) 出演：玉本英子(ジャーナリスト)、リム・アッバス、 アーヤ藍(ライター・映画探検家)、斉藤亮平、牧野アンドレ
6月26日～30日	「イラクとシリアの子どもたち絵画展～JUSTPEACE!」
10月21日	「イラクの今と現地報告」 出演：酒井啓子(千葉大学法政経学部教授)、斉藤亮平、 牧野アンドレ、長谷部貴俊
11月9日	チョコ募金キックオフイベント「JUSTPEACE! ～虹の彼方へ」(オンライン配信イベント) 出演：湯川れい子(音楽評論家)、斉藤とも子(俳優)、鎌田實(JIM-NET代表)、牧野アンドレ
12月1日	新宿ベルク絵画展(～12月31日まで)



絵画展@EBISU ROOM



シリア現地報告会



絵画展の様子



キックオフJUSTPEACE! ～虹の彼方へ～

チョコ募金

冬季限定で、1口550円ご寄付くださった方に、チョコレートをお礼としてプレゼントしている募金キャンペーンです。

2021年度は、コロナ禍での取り組みも2年目を迎えましたが、受付開始前からたくさんのお問い合わせをいただき、無事に14万個すべて終了することができました。温かいご支援をくださった皆様に、心から感謝申し上げます。

①テーマ：『CHOCOLATE for PEACE!』

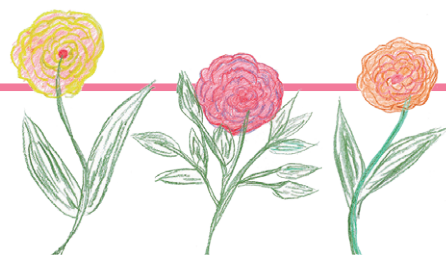
②取組個数：六花亭様の協力により、14万個

③実施期間：2021年11月15日～2022年2月3日まで



◆チョコ募金運営協力（敬称略）

六花亭商事株式会社／古茂田工業株式会社／株式会社江連金属印刷所／有限会社佐賀製作／有限会社山猫印刷所／社会福祉法人 川崎市社会事業団 KFJ多摩はなみずき／fushigina／SEO株式会社



収益事業

JIM-NETが支援しているイラクとシリアの小児がんの子どもたちは、入院先での院内学級やJIM-NETハウス（小児がん総合支援施設）内のアートルームで過ごす時間が大好きです。

2021年初夏から株式会社キャメル珈琲のご協力で子どもたちの絵がパッケージに印刷されたドリップコーヒー「COFFEE for PEACE！」の販売を始めました。絵柄は4種類、各一万個で、初めてのチャレンジでしたが、全国の皆さまのお手元にお届けし、喜んで頂くことができました。

1セット：550円（税込み）うち約300円がJIM-NETの活動資金となります。



取組個装：4万個

実施期間：2021年6月28日

～2022年3月31日



海外事業

アルビル県を中心とした包括的小児がん患者支援

事業地：イラク・クルド自治区アルビル

対象者：約5,000人 (JIM-NETハウス滞在の患者家族含む)

活動内容：JIM-NETハウス運営、医薬品支援、貧困患者支援

シリア難民・イラク国内避難民に対する緊急医療支援

事業地：イラク・シリア

対象者：約500人

活動内容：粉ミルク支援、医薬品支援、家族計画支援、医療従事者への能力向上研修実施

バグダード小児がん支援

事業地：イラク・バグダード

対象者：約1,000人

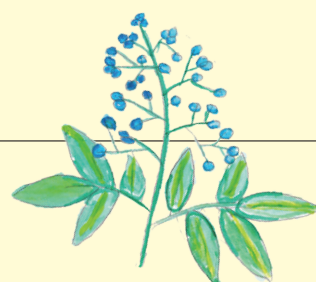
活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級運営

バスラ小児がん支援

事業地：イラク・バグダード

対象者：約1,000人

活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級運営



国内事業

福島事業 (福島基金)

- ・福島の子どもの対象にした活動を行っている団体の活動に対して支援を行う。
- ・2022年7月1日から公募を開始する。

チョコ募金

- ・テーマ：CHOCOLATE for PEACE !
- ・デザイン：イラクと日本をオンラインで繋ぎ、お絵描きワークショップを行い、子どもたちに描いてもらった絵をチョコ缶のデザインとする。
- ・取組個数：14万個
- ・受付スタート：2022年11月中旬から受付スタート予定。

サポーター管理・ ファンドレイジング

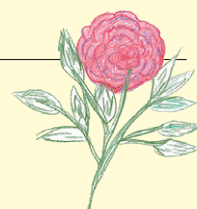
- ・不要になった物品・本の寄付、パソコンや楽天での購入が支援につながるなど、様々な寄付方法を周知し、募金につなげる。
- ・サポーター管理ツールの改修を行う。

収益事業

- ・ドリップコーヒー・COFFEE for PEACE !
8月1日より新デザイン (2種類x1万セット) を販売スタート予定。
- ・その他グッズ
イベントなどで随時販売予定。

広報・イベント

- ・広報
HPの内容の更新 (写真の更新、JIM-NETヒストリーなど)
- ・イベント
キックオフイベントをオンラインで配信とDVD化を図る。
報告会など各種チャリティイベントの実施。



2021年度決算

活動計算書 2021年4月1日～2022年3月31日

I. 経常収益 (単位: 円)	
科目	決算額
受取会費	正会員受取会費 65,000
	サポーター受取会費 2,732,000
	ラナサポーター受取会費 4,810,000
	合計 7,607,000
受取寄付金	受取寄付金 29,977,235
	チョコ募金 82,166,825
	合計 112,144,060
受取助成金	2,851,291
合計	2,851,291
事業収益	自主事業収益 11,305,926
	受託事業収益(受取講演料) 35,000
	合計 11,340,926
その他収益	受取 利息 382
	雑 収 益 739
	受取講演料等 142,325
	合計 143,446
経常収益計	134,086,723

II. 経常費用／III. 経常外収益／IV. 経常外費用 (単位: 円)

科目	決算額
事業費	人件費(給与手当、通勤費他) 35,688,907
	売上原価 1,868,164
	旅費交通費 6,011,876
	その他費用(家賃、水道光熱費他) 10,720,279
	プロジェクト物資費 32,589,627
	ワークショップ等開催費 91,006
	寄付金原価 22,838,707
	印刷広告宣伝費(事業) 6,370,829
事業費計	116,179,395
管理費	人件費(給与手当、通勤費他) 9,420,132
	その他経費(事務所家賃他) 6,877,418
管理費計	16,297,550
経常費用計	132,476,945
経常外収益計	0
経常外費用計	396,689
当期正味財産増減額	1,213,089
前期繰越正味財産額	188,100,372
次期繰越正味財産額	189,313,461

貸借対照表 2022年3月31日現在

資産の部 (単位: 円)	
科目	金額
【流動資産】	
現金・預金	178,542,688
未収金	55,095
棚卸資産	531,289
(その他流動資産)	
前払 費用	394,564
仮 払 金	463,120
緊急時対応準備金	11,000,000
流動資産合計	190,986,756
【固定資産】	
什器 備品	56,440
敷金	624,960
固定資産合計	681,400
資産合計	191,668,156

負債の部 (単位: 円)	
科目	金額
【流動負債】	
未 払 金	657,296
未払 費用	1,114,790
預 り 金	532,609
仮 受 金	50,000
負債合計	2,354,695
【正味財産】	
前期繰越正味財産額	188,100,372
当期正味財産増減額	1,213,089
正味財産合計	189,313,461

監査報告書

監 査 報 告 書
INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

特定非営利活動法人 JIM-NET の 2021 年度決算 (2021 年 4 月 1 日 - 2022 年 3 月 31 日) について、監査の結果、事業は適正に実施され、また活動計算書および貸借対照表は、一般に公正妥当と認められる会計原則に基づいて作成されていることを認める。

I have audited the financial statement of NPO JIM-NET as of March 2022 and acknowledged that revenue and expenditures for the Fiscal Year 2021 in the activity statement and balance sheet were based on generally accepted accounting principles.

日付: 2022年6月7日

監事: 村山文彦

2022年度予算

活動予算書 2022年4月1日～2023年3月31日

I. 経常収益 (単位: 円)	
科目	決算額
受取会費	正会員受取会費 70,000
	サポーター受取会費 2,700,000
	ラナサポーター受取会費 4,800,000
	合計 7,570,000
受取寄付金	受取寄付金 19,150,000
	チョコ募金 81,600,000
	合計 100,750,000
受取助成金	1,500,000
合計	1,500,000
事業収益	自主事業収益 5,555,000
	合計 5,555,000
その他収益	55,000
	合計 55,000
経常収益計	115,430,000

II. 経常費用／III. 経常外収益／IV. 経常外費用 (単位: 円)

科目	予算額
事業費	人件費(給与手当、通勤費他) 35,212,000
	旅費交通費 10,003,000
	その他費用(家賃、水道光熱費他) 11,151,000
	プロジェクト物資費 32,674,000
	ワークショップ等開催費 907,000
	業務委託費 3,931,000
	寄付金原価 20,835,000
	印刷広告宣伝費(事業) 5,865,000
事業費計	120,578,000
管理費	人件費(給与手当、通勤費他) 11,664,000
	その他経費(事務所家賃他) 7,864,000
管理費計	19,528,000
経常費用計	140,106,000
当期収支差額	△ 24,676,000

JIM-NET参加団体紹介

【アラブの子どもとなかよくする会】

1991年の湾岸戦争後からアラブ地域、とくにイラクの子どもたちへの支援活動を開始、1993年に会を設立されました。がんの子どもたちへの医療支援のほか、クラフト作り（アフーク・プロジェクト）を通じて患者家族の生活支援を行っています。

【株式会社カタログハウス】

カタログ雑誌「通販生活」では、信頼できる暮らしの道具を厳選して販売するとともに、戦争や災害に苦しむ子どもたちの救援活動に取り組んでいます。

【子どもの平和と生存のための童話館基金】

童話館グループは、長崎市にある絵本・子どもの本を専門に扱う会社です。

2001年、童話館の創業20周年記念として、「子どもの平和と生存のための童話館基金」が設立されました。

【「サダコ」・虹基金】

原爆の子の像のモデル佐々木禎子さんと同じ病院で過ごした故・大倉記代さんが、絵本『想い出のサダコ』出版をきっかけに2006年3月に設立した基金です。

【スマイルこどもクリニック】

小児救急施設の不足が深刻な社会問題となる中、2001年に開院された24時間診療の小児クリニックです。イラク難民キャンプでの健康診断、子どもたちの手術費の援助など様々な支援を行っています。

【日本国際ボランティアセンター（JVC）】

1980年、カンボジアやラオス、ベトナムでたくさんの難民が生まれた際、タイの難民キャンプに駆けつけた日本の若者たちにより誕生しました。現在、アジア、アフリカ、中東で活動しています。

【日本チェルノブイリ連帯基金（JCF）】

1991年1月、チェルノブイリ原子力発電所事故被災者への医療支援を目的として設立された認定NPO法人です。

2004年からはイラクの小児白血病・小児がんの子どもたちへの支援も行っています。

ご支援いただいた皆さまの紹介（敬称略）

◆助成金

日本労働組合総連合会（愛のカンパ）

◆ファンドレイジングサービス

TMコミュニケーションサービス株式会社（お宝エイド）／株式会社ブギ（古本チャリティ募金）／gooddo株式会社（gooddo）／ソフトバンク株式会社（つながる募金）／株式会社STYZ（Syncable）／ピープルポート株式会社（ZERO PC 想うプロジェクト）

◆ご寄付

誌面の都合上、大口のご寄付をいただいた企業・団体を掲載しております。

ご支援を賜りましたすべての皆様に、深く感謝申し上げます。

・チョコ募金（11,152件）

株式会社アルソア慧央グループ／ビア&カフェ BERG／自然派くらぶ生活協同組合／札幌イラクチョコ募金の会／大王製紙株式会社／ゴスペルスパークル／学びい舎英語塾／認定NPO法人WE21ジャパンこうほく／旭松食品株式会社／株式会社ミズ／子どもの平和と生存のための童話館基金／認定NPO法人WE21ジャパンとつか／さくら診療所／株式会社カタログハウス／株式会社ツクイホールディングス

・一般寄付（3,364件）

株式会社カタログハウス／生活協同組合パルシステム東京（平和カンパ）／全国友の会／テンボデザイン事務所／株式会社TOI LA VIE／NPO法人WE21ジャパン港南／有限会社エリコ通信社／認定NPO法人WE21ジャパンこうほく／認定NPO法人WE21ジャパン伊勢原／有限会社SATOWA MUSIC／学校法人武蔵野学園ひまわり幼稚園／NPO法人WE21ジャパン青葉／DAMASHQUIE／株式会社アレッポの石鯨

2021年度年次報告書

2022年7月30日発行

特定非営利活動法人 JIM-NET（ジムネット）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-11 内藤ビル2C

電話：03-6228-0746 E-mail：info-jim@jim-net.net

寄付金振込先：ゆうちょ銀行振替口座 00540-2-94945 加入者名 日本イラク医療ネット
他行からのお振込の場合：

預金種目 当座 店名 ○五九店（○は漢数字のゼロ）口座番号 0094945

<http://jim-net.org/>



JIM-NET
الشبكة الطبية اليابانية العراقية

